

V 子供の笑顔があふれる都市

子供の笑顔と子供を産み育てたい人であふれる東京、一人ひとりに寄り添い、切れ目なく子供や家庭を支える東京、全ての子供・若者が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ東京の実現に向けた施策を展開していきます。

1 子供にやさしい社会の実現

④2,448億円（③2,337億円）

■ 結婚・妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援 ④2,156億円（③2,084億円）

新 ▶ とうきょう子育て応援パートナー事業【福保】 ④0.5億円（新規）

妊娠期から就学前にかけて、子供と家庭に寄り添い、あらゆる支援をコーディネートする人材を育成し、安心して子育てができる環境を整備

事業内容

ワーキンググループ

- ・有識者を含めたワーキンググループを開催し、役割・必要スキル・支援対象・人員体制・連携の仕組みなどの制度設計を実施

人材の育成

- ・令和4年度に養成プログラムを作成し、5年度から人材育成を開始



新 ▶ 東京ユースヘルスケア推進事業【福保】 ④1億円（新規）

中高生等の思春期特有の健康上の悩みや妊娠を考える男女のプレコンセプションケアなどに対応できるよう、相談の実施方法や医療機関との連携、受診支援に向けた取組を実施

新 ▶ 都立高校等での生涯の健康に関する理解促進及び相談等への支援【教育】 ④1億円（新規）

生徒が生涯を通じて自らの健康を支える環境を管理し、改善していくための資質・能力の育成を目指し、産婦人科医と連携した公開授業等を実施するとともに、性に関する悩み等を相談できる窓口を新設するなど、希望する都立高校生等に対し、適切な支援を実施

事業内容

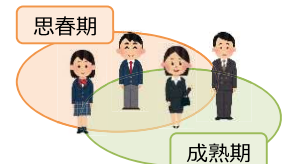
東京ユースヘルスケア推進事業

- ・医療機関等の状況把握や検討会設置の上、相談事業の実施方法を構築
→ 令和4年度中に相談事業の先行実施を開始
- ・妊娠適齢期や婦人科疾患、更年期障害等に関する相談支援、健康教育、普及啓発を行う区市町村を支援
[補助率] 10/10（3か年）

連携

都立高校等での理解促進及び相談等への支援

- ・生徒が自らの健康を管理、改善していく能力の育成に向け、産婦人科医等と連携し、教員への外部研修等を実施
- ・性に関する悩み等を相談できる窓口の新設など、適切なケアにつなげる支援を実施



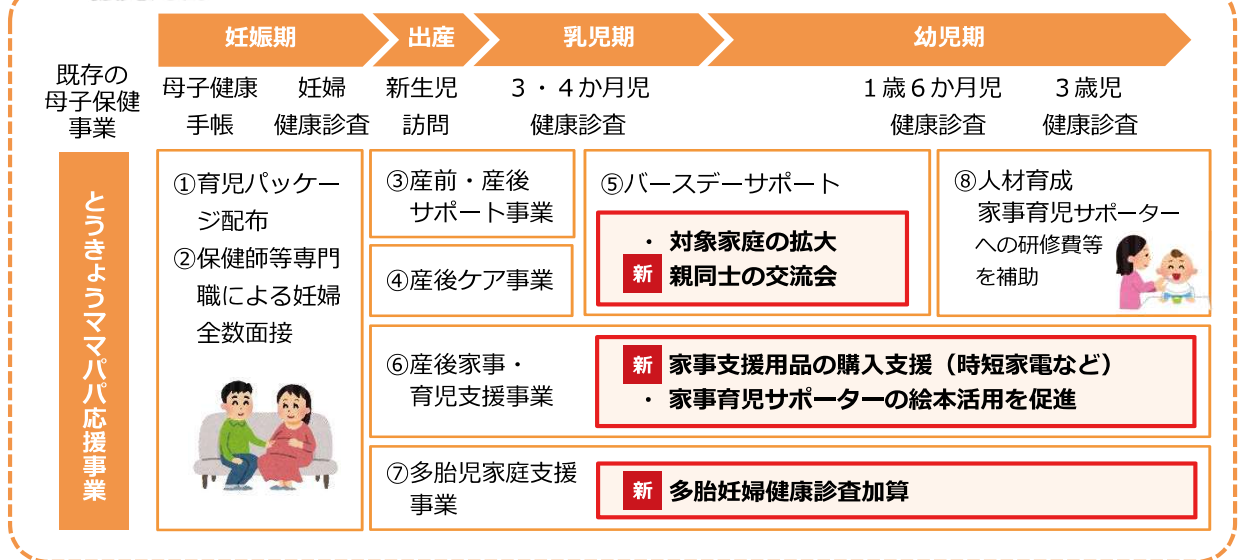
新 ▶ 卵子凍結に関する取組【福保】 ④6百万円（新規）

女性が自らのライフプランについて、適切な選択が行えるよう、卵子凍結の正しい知識の普及啓発を行うほか、卵子凍結に関する助成対象疾患拡充のため、専門医にヒアリングを実施

➤ **とうきょうママパパ応援事業【福保】** **④44億円（③30億円）**

妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援が行われるよう、育児パッケージの配布や相談支援体制の構築等、区市町村の取組を支援（規模：③62か所→④62か所）

拡充内容



新

都民

➤ **チャットボットによる子育て支援情報の発信【福保】** **④0.1億円（新規）**

東京の子育てに関する情報をまとめた「とうきょう子育て応援ブック」の内容をもとに、子育て相談のチャットボットを作り、保護者が必要な情報を入手しやすい環境を整備

➤ **保育所等利用多子世帯負担軽減事業【福保】** **④86億円（③96億円）**

児童が2人以上いる世帯に対し、私立認可保育所等に通う実際の第2子、第3子以降の保育料の利用者負担分について、負担軽減を行う区市町村を支援

➤ **保育従事職員宿舍借り上げ支援事業【福保】** **④126億円（③102億円）**

保育従事職員の宿舍借り上げ支援を行う区市町村に対して、その経費の一部を補助（規模：③28,073人→④33,189人）

➤ **保育所等デジタル化推進事業【福保】** **④1億円（③0.8億円）**

保育士の業務負担の軽減を図るため、保育所等のデジタル化に必要な経費を補助

新

➤ **予防のための子供の死亡検証（CDR）【福保】** **④0.2億円（新規）**

子供の死亡事例について、福祉、保健、教育等の関係機関と連携しながら、社会的背景や環境要因等の分析等を行い、効果的な予防対策を提言することで、将来に向けた予防につなげる

新

➤ **高校生等医療費の助成【福保】** **④7億円（新規）**

子育て支援の充実のため、高校生相当年齢への医療費助成制度の開始に向けた区市町村等の準備経費を補助

➤ **こどもスマイルムーブメント【子供】** **④4億円（③3億円）**

「チルドレンファースト」の社会を創出することを目的として、官民が連携し、社会のマインドチェンジを促すムーブメントを推進

など